

# 隈部親永と肥後国衆一揆

隈部親永は、戦国時代末期に山鹿・菊池の二郡を支配していた肥後の国衆(国人)を代表する武将です。

天正15年(1587)、豊臣秀吉は九州出兵の際、彼に降伏した肥後の国衆50余人にひとまずはその支配地を保証し、肥後国主に任命した佐々成政には新しい土地制度となる検地を3年間行わないように指示しました。しかし、成政は検地を強行しようとしたため、親永が反発しました。この反発を抑えるため、成政が親永を攻めたのが一揆の始まりとなりました。

菊池の守山城(菊池本城)を佐々軍に落とされた親永は、息子の親泰が居城する山鹿の城村城で籠城します。その間、肥後国内の国衆たちが親永に同調して、成政居城の隈本城を包囲しました。この一揆を知った秀吉は激昂し、京都北野の大茶会を一日で取り止めて、西日本の大名たちに一揆の鎮圧を命じました。大軍に囲まれた親永・親泰親子は必死に抵抗しましたが最終的に降伏し、天正16年(1588)、親永は柳川で、親泰は小倉で最期を遂げました。

一揆鎮圧後、秀吉から全国へ向けて刀狩令が発せられ、兵農分離が進められました。そして、肥後でも太閤検地が行われ、肥後の北半分は加藤清正に、南半分は小西行長に与えられました。

肥後国衆一揆は、肥後の中世の終わりを告げる重要な画期として位置づけられます。



「清潭寺隈部親永公木像」  
(山鹿市指定文化財)

- 交通アクセス
- 菊鹿総合支所より 6km (車で約10分)
  - 植木インターより 20km (車で約30分)
  - 菊水インターより 25km (車で約35分)



**【史跡隈部氏館跡 概要】**

所在地 熊本県山鹿市菊鹿町上永野字高池  
 指定年月日 平成21年7月23日  
 指定面積 33,907㎡

お問い合わせ先

山鹿市教育委員会 社会教育課  
 TEL0968-43-1651  
 shakyoh@city.yamaga.lg.jp



戦国時代肥後有力国人の居館跡  
 国指定史跡

# 隈部氏館跡

